

「今後の方向性」に基づく取組内容の記載について

本書の「平成 25 年度事務事業評価表（重点評価）」における「過年度の実績状況の評価と今後の方向性」欄は、平成 25 年 5 月 16 日～7 月 12 日に、「『今後の方向性』に基づく取組内容」欄は、予算編成等の結果を踏まえ、年度末に記載したものです。

平成25年度事務事業評価表（重点評価）							
事務事業名	区民保養施設提供事業			担当部	地域振興部		
				担当課	地域振興課		
過年度の実績状況の評価と今後の方向性							
実績状況の評価	東日本大震災の影響により、平成23年度は一時的に稼働率が低下したが、広報かつしかや区ホームページ、委託業者のPR活動を継続し、平成24年度には過去2年間を上回る稼働率となった。また、平成23年度より借上施設数を10施設から12施設に増やし、選択肢の拡大を図った。						
今後の方向性	改善	<p>予算編成等の結果を踏まえ、年度末に記載した箇所です。</p> <p>効率的・効果的な事業の提供方法についても、引き続き検討を行う。</p>					
「今後の方向性」に基づく取組内容							
今後の成果指標の目標値							
成果指標	指標の根拠・計算式など	単位	区分	25年度	26年度	27年度	
部屋稼働率	部屋稼働数÷部屋借上数×100	%	目標	70	70	70	
満足度	再度利用希望枚数÷アンケートはがき総枚数×100	%	目標	90	90	90	
2 今後の活動目標及び活動指標の目標値							
活動目標	視点	活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度
満足度が高まるような施設を選定し、借上施設数を維持する。	おもてなし	借上施設数	施設	目標	12	12	12
区民の利用の機会を確保するため、借上部屋数を維持する。	おもてなし	借上部屋数	部屋	目標	20	20	20
—	—	—	—	目標	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—

※「葛飾区基本計画」における施策の目標値は、平成 27、30、34 年度で設定しています。したがって、「葛飾区基本計画」の施策に関連する指標及びその目標値を設定している事務事業は、平成 25、26 年度目標値を「—」としています。